

学校名	熊谷市立妻沼南小学校
所在地	熊谷市弥藤吾704
電話	048-589-0731

1 本校の概要

本校は平成6年に創立し、28年目を迎えた熊谷市内で最も新しい学校である。全校児童数は133名、学級数は8学級の小規模校である。本校は、「心は美しく 望みは高く」の校訓のもと、「美しい心と高い望みを持ち、心身共に健康で、いつも笑顔の児童」の育成を目指し、保護者や地域とともに教育活動を進めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書週間に係る取組
- ・学校図書館等の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 読書活動の充実

- ① 全校児童によるおすすめの本紹介
友達にも読んでもらいたい本をカードに書き、学校図書館前に掲示している。
- ② 読書チャレンジの取組
1～3年生は100冊、4～6年生は3,000ページを年間で達成できるよう、読んだ本の題名や感想等をカードに記入している。
- ③ 「心のたから100選」の取組
児童に読んでもらいたい100冊の本を低学年と高学年のそれぞれに提示し、3年間での達成を目指している。

イ 読書月間の取組 (11月)

- ① 図書委員による図書集会
学校図書館の利用の仕方やおすすめの本の紹介を中心に行っている。今年度は、コロナ禍における学校図書館の利用の仕方について、動画で集会を実施した。
- ② 図書委員によるおすすめの本の紹介
たくさんの児童に本を手にとってもらえるよう、おすすめの本のポップを作成した。



- ③ 図書委員会による読み聞かせ
低学年に本の楽しさを知ってもらうため、学年に応じた本を選び、読み聞かせを行っている。
- ④ 学校図書館補助員による読み聞かせ
お昼の放送時に、学校図書館補助員が読み聞かせを行い、読書の促進を図っている。

ウ 環境整備の充実

- ① 掲示物の作成
学校図書館の入口や周辺には、学校図書館補助員が作成した新刊本の紹介や、季節に応じた掲示物、新聞記事などを掲示し、児童が図書館に立ち寄るきっかけになるよう工夫している。



- ② 本の入れ替え
学校図書館補助員と連携し、毎年夏休みに学校図書館や学級文庫の本の入れ替えを行っている。

3 成果と今後の課題

- (1) 成果
読み聞かせの活動により、本を読むことが苦手な児童も、お話の世界を楽しむことができ、学校図書館の利用につながった。また、本の入れ替えや掲示物の更新により、児童が学校図書館を身近に感じている。本を選ぶ際に、挿絵や字の大きさに選ぶ傾向が強かったが、読んでもらいたい100冊の本専用の棚を設けて利用を促すことで、児童が選ぶ本に広がりをもたせることができた。

- (2) 課題
コロナ禍により、学校図書館の利用に制限をせざるを得ないため、貸出冊数は減ってしまっている。さらには、読書好きではない児童の学校図書館への足が遠のいてしまっていることへの対策として、読書への関心と意欲向上が課題である。また、学校だけでなく、家庭でも読書をする機会を促す取組を実施し、読書に親しむ時間を増やしていきたい。